

インシデント報告数

概要

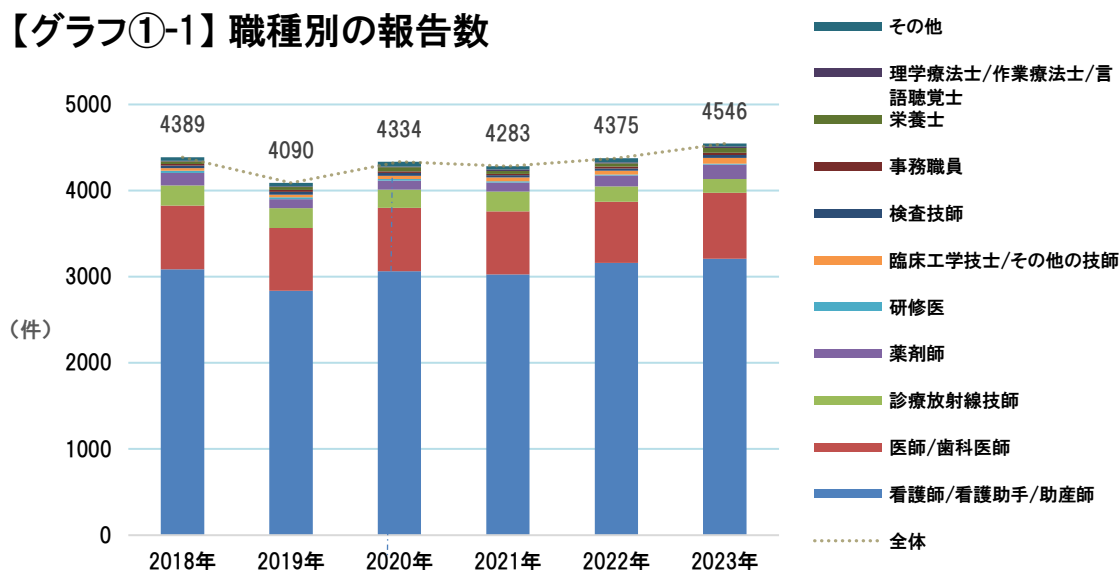
インシデントとは、診療・ケアにおいて、本来あるべき姿からはずれた事態、行為の発生を意味し、患者さんへの障害発生の有無は問いません。（予想外に生じてしまった悪い結果や医療行為に際して二次的に発生した障害だけでなく、患者さんに実施する前に防げたものも含まれます。）

ここでは、スタッフから報告のあったインシデントの件数を算出しています。

インシデントの発生を報告することで、関係するスタッフ全員で内容を共有することができるため、インシデントの再発を防止したり、医療事故を未然に防いで、医療安全に繋げることができます。報告数が多いことは、より多くのインシデントを共有できているということを示します。

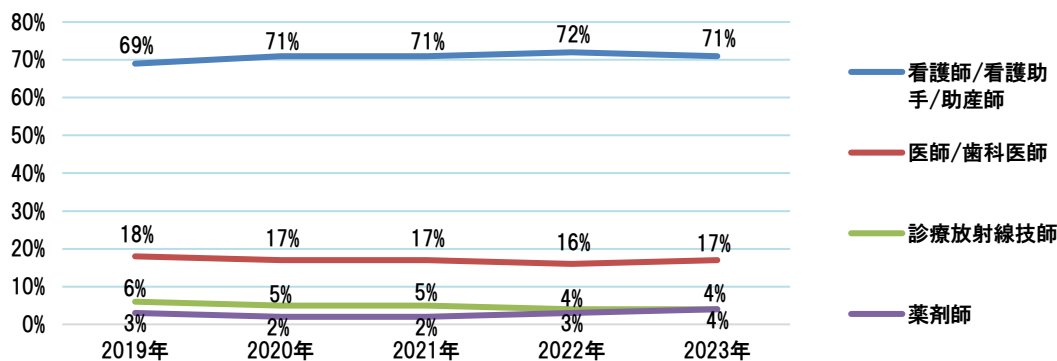
実績

【グラフ①-1】職種別の報告数



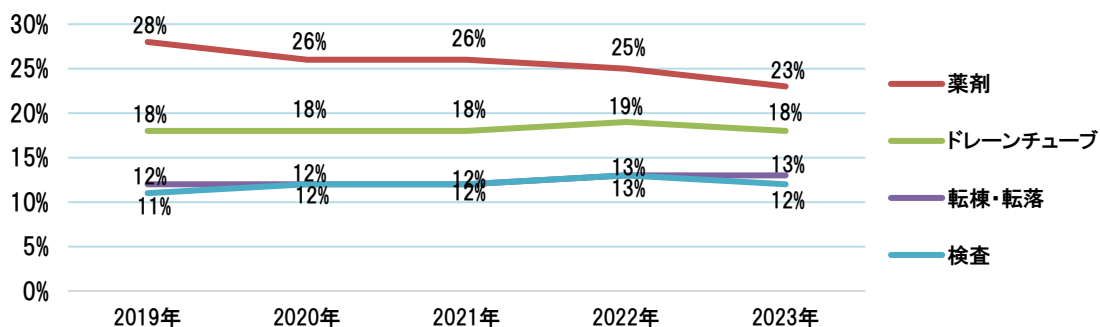
【グラフ①-2】職種別の報告割合

※グラフ①-1で件数の多いものから4職種のみ表示

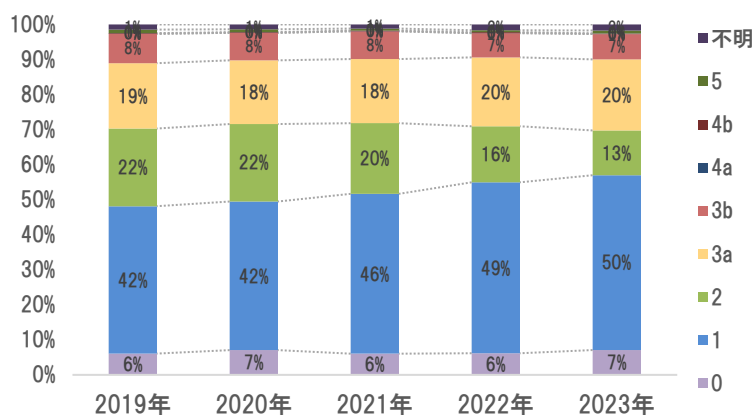


【グラフ②】内容別の割合

※件数の多いものから4項目のみ表示



【グラフ③】程度(レベル)別の割合



レベル	障害の継続性	障害の程度
5	死亡	-
4b	永続的	中等度～高度
4a	永続的	軽度～中等度
3b	一過性	高度
3a	一過性	中等度
2	一過性	軽度
1	なし	-
0	患者への実施前に発見された事例	

共有/フィードバック方法

・毎月、病院幹部が出席する医療業務安全管理委員会と、現場責任者が出席するリスクマネージャー会議で報告され、共有しています。
 ・関係スタッフで共有し、必要に応じて再発防止策の策定やマニュアルの改定を実施しています。

解説

看護師等からの報告が最も多く、全体の約 70%程度で推移しています。また、医師からの報告が約 17%と高い水準で推移しています。(※実績グラフ①-1, ①-2 参照)
 当院では、治療に関連する有害事象に関して、基準を定めて報告を促しており、これにより医師の報告意識が高まっていると考えられます。

◆担当部署:医療の質・安全管理部